

## 「超我の奉仕」例会

堺南ロータリークラブ

今年度（2005 - 06）国際ロータリーのテーマである「超我の奉仕」例会を11月9日（水）に会場を変更して堺市大仙公園内の「もず野」レストランで12時30分より開催しました。

特に今回の例会には会場の変更には特別な意味が含まれているわけです。

それは、今から25年前の1981年4月に当クラブ（堺南ロータリークラブ）の指針で「超我の奉仕」を標語に選定し、仁徳天皇陵の正面、大仙公園（約33万ha）の入口に近いところに横長の石碑に「超我の奉仕」と刻んで20周年記念として建立されました。

当時の我がクラブが選定した標語と、今年度のロータリーの指針と奇しくも同じであるということに驚きを感じる。

大部分の会員はその後、入会したので石碑のことすら解らないのである。

現在、当時から続いて入会している者は数名しかいない。

例会当日、当時在会していた、中西会員から「わがクラブを降り返って、創立20周年前後」と題して卓話された。

中西氏をはじめ、当時から居られた数名はどんなにかと胸中が察せられる思いであった。

正に先見の明であり、それだけでなく先輩諸君のロータリアンのお陰を強く感じとられ、今後、10年、20年、30年いや永久に堺南ロータリークラブの誇りとする「超我の奉仕」の石碑と我がクラブの発展を願うのである。